

環境コスト

より合理的な活動を推進するために。

環境コスト把握の目的

地球環境保全に配慮した企業活動を推進するためには、さまざまなコストが必要です。これらは、環境法律や社会的要請などによって増加する傾向にあります。TDKではこうしたコストを正確に把握し、費用対効果を明確にすることで、

より合理的・効率的な地球環境保全活動に結びつけていく考えです。現在は環境コストの集計を行っていますが、今後はコスト投入に対する環境負荷の削減や収益との関連についても検討を進めていきます。

環境コストの集計（1998年度実績／単位＝千円）

●環境保全コスト

分類	区分	設備投資額	経費	合計
汚染防止対策	大気汚染防止	19,000	135,300	154,300
	悪臭防止	0	48,100	48,100
	水質汚濁防止	151,000	310,100	461,100
	騒音防止	2,800	2,500	5,300
	振動防止	0	700	700
	土壌汚染防止	6,300	15,200	21,500
	廃棄物対策	28,200	497,000	525,200
	小計	207,300	1,008,900	1,216,200
環境対策	省エネ対策	105,900	6,400	112,300
	省資源対策	0	78,600	78,600
	温暖化対策	0	200	200
	オゾン層保護	23,400	1,000	24,400
	緑化対策	32,800	69,300	102,100
	その他	0	5,600	5,600
	小計	162,100	161,100	323,200
	合計	369,400	1,170,000	1,539,400

*TDK本体12事業所の集計額です。 *汚染防止対策や環境対策の直接的な活動の費用のみです。管理業務など間接費用は含みません。 *設備の減価償却費は経費に含みません。（支払いベースで設備投資額として集計）

●ISO14001認定取得費用

区分	費用
審査費用	32,000
人件費	308,000
教育訓練費	24,000
その他経費	70,000
合計	434,000

*TDK本体12事業所の合計費用です。
*その他経費には、取得に伴う環境改善費用、事務用品費、旅費交通費などを含みます。

●リサイクル効果額

区分	費用
汚泥	30,340
廃油	260
有機溶剤	710
廃プラ	16,880
金属屑	31,820
紙屑	20
ガラス陶磁器	100
廃酸・廃アルカリ	4,340
合計	84,470

*有価物の売却・省資源化による利益です。
*TDK本体12事業所の合計効果額です。
*廃棄物のリサイクルによる、費用の削減効果は入っていません。

「環境会計ガイドライン」への対応

環境庁によって、環境会計の共通化を図るための「環境会計ガイドライン」の中間報告が発表されました。現在は環境会計の定義付けは明確ではありませんが、TDKでは費用対効果をあげるための指針として活用していく方針です。